

飛躍

森町立旭が丘中学校 第3学年
学年通信 第21号
2020年 9月14日 (月)
文責 太田 雄司

中学校生活最後の体育大会目前です！！

いよいよ今週末の18日(金)に中学校生活最後の体育大会が行われます。本格的に練習が始まった9月に入ってから雨の日も多く、十分な練習時間が確保できているとは言いきれませんが、各学級とも昼休みや学活等の練習時間を使って意欲的に練習をしています。また、給食後の動きを速くすることで練習時間を1秒でも長く生み出そうとしたり、練習後の活動(授業・清掃等)に遅れることのないようにメリハリをつけて練習に取り組んだりする姿からは、最上級生としての「自覚・意識・覚悟」を感じることができます。「学年通信第14号」でもお伝えした通り、今年度は学年種目と綱引きが行われないため、リレー6種目と長縄の計7種目で優勝を争うことになります。常に最高記録を目指しながらお互いに声を掛け合って跳んでいる長縄の練習。バトンパスを工夫して1秒でも速く走ろうとするリレーの練習。なかなか成果が出ず苦しい状況でも決して弱音を吐くことなく学級生徒全員で壁を乗り越えようと努力し続ける練習。そんな姿を見て、大会当日は誰の心にも残る熱い戦いを繰り広げてくれるだろうと期待しています。今日も含めて練習ができる日数は残り5日です。毎回の練習を常にこれが最後だという気持ちで全力・本気になって取り組み、大会当日を迎えてほしいと思います。



☆「競技以外のことにどれだけ全力で取り組めるかで 体育大会が成功するかどうかが決まる。」

毎年体育大会前に生徒たちに伝えている言葉です。今年は5月下旬の学校再開時から毎時間の授業の中で準備運動をかねてラジオ体操に取り組んできました。2学期に入ってから、例年同様ラジオ体操に加えて、集合・整列などの集団行動。そして体育大会の最後を飾る集団演技のソーラン節の練習に取り組んできました。同じことの繰り返しで、ある意味面倒くさい練習ではありますが、生徒たちは一切気を抜くことなく、全力でこれらの練習に取り組んでいます。体育の授業中に朝礼台やステージの上から見る生徒たちの演技は、一つの動きが研ぎ澄まされ、気迫にあふれる動きで毎時間感動させられます。このような単純なことや面倒なことに真剣に取り組むことをしっかりと積み重ねてきたからこそ、確かな力が身に付き、そのような姿を練習の段階から見せられるのだと思います。そして、これこそが今年の3年生の強みだと思います。そんな姿を見て、今年の体育大会を彼らの力で必ず成功に導いてくれると強く思えます。そして何より、自分たち自身が成長を実感し、感動をする体育大会を創り上げてくれると思います。

☆体育大会のプログラム ※は全員が参加する種目です。

8:45	選手入場・整列、開会式 ※	11:10	女子800mリレー
9:00	旭中ラジオ体操 ※	11:25	男子1200mリレー
9:15	全員リレー ※	11:45	ソーラン節 ※
9:45	女子障害物リレー	12:05	閉会式 ※
10:00	男子障害物リレー		
10:15	男女混合リレー		
10:30	長縄跳び ※		



当日の天候や競技の進行状況によって、多少時間がずれることもあります。正式なプログラムは先日配付したもので御確認ください。

